

# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 若園小学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）		
2 実施対象者 (学年・人数)	<table border="1"> <tr> <td>2校時 〈人権講演会〉 全学年児童(432名) 保護者(8名)</td> <td>3校時 第4学年 65名 第5学年 65名 保護者 8名</td> </tr> </table>	2校時 〈人権講演会〉 全学年児童(432名) 保護者(8名)	3校時 第4学年 65名 第5学年 65名 保護者 8名
2校時 〈人権講演会〉 全学年児童(432名) 保護者(8名)	3校時 第4学年 65名 第5学年 65名 保護者 8名		
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名(総合的な学習の時間・道徳)</p> <p>② 行事名(人権講演会)</p> <p>③ その他( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名( )</p> <p>② その他( )</p>		
4 目標 (ねらい)	○ パラリンピアンとの交流を図り、障害者理解を深めるとともに、その人の生き方を知り、自分の生き方を見直したり、将来への展望をもったりすることができるようにする。		
5 取組内容	<p>【事前学習】</p> <p>○ 学ぼう「パラリンピック」 →各担任が児童の発達段階に合わせて学習</p> <p>○ 手旗づくり(中西さん歓迎用) →マスコットキャラクターのオリジナル手旗を全員作成 ↗</p> <p>○ 中西麻耶さんについて(DVD視聴) →中西さんの人柄がよくわかるDVDで期待感を醸成</p> <div style="text-align: right;">  <p>← 割りばし</p> </div> <p>【「若小にパラリンピアンがやって来た!」】2校時</p> <p>○ 講演会「パラリンピックとわたし」[全学年・保護者] ・足に障害のある陸上競技者から、パラリンピック出場までの挫折と、それを乗り越え、自分の道を歩もうとする生きざまについて話を聞く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドバイで獲得した金メダルを紹介↑</li> <li>・講演を熱心に聞き入る児童↗</li> <li>・中西さんが跳んだ長さを表した掲示→</li> </ul>  </div>		

	<p>○【座談会[4・5年生・保護者]】3校時 ～もっと深く中西さんから学ぼう～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「義足」ってどうなっているの？ 見る・触れる・走っていただくなど</li> <li>・質問コーナー</li> </ul>  <p>一人一人言葉を交わし、メダルにふれさせていただく</p>  <p>義足の着脱の様子を観察しました</p>  <p>義足を触って、重さや形状を みんなに伝えました</p> <p>○【事後学習】～中西さんへのメッセージづくり～ 講演の感想やパラリンピックに向けての応援メッセージを全員作成し、後日中西さんのもとへ送付した。</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>○ 義足というハンデをもちながらも自分の夢に向かって突き進む姿や中西さんを支える周りの人々の関わりについて知ること、共に生きることの大切さを実感させることができた。中西さんの「やってみようと思う勇気をもつこと」「夢をもつこと。夢をあきらめないこと」という経験の中から生まれたメッセージは、児童の心に響き、自分の生き方を見直す良いきっかけとなり、自らの将来について考えることができた。</p> <p><b>講演後の…子どもたちの感想・手紙から(一部抜粋)</b></p> <p>★義足を見たのは初めてで少しおどろきました。中西さんの話は一つ一つが勉強になりました。話を聞いて、ゆめはあきらめないで努力すればかなうことが分かりました。ただ何も行動を起こさず待っていても何も起きません。ポジティブに考えるかネガティブに考えるかによって価値観がちがうと教わりました。中西さんが2020パラリンピックで1位をとれるように応援したいです。(4年MSさん)</p> <p>★(ドバイ世界パラ陸上の)金メダルを持たせてもらった時、「金メダルってこんなに重たいんだ」と思いました。わたしが「笑顔のひけつは何ですか?」とたずねた時に、悪い考えはどんどん悪い方に広がっていくけど、いい考えも同じでいい方にどんどん広がればいい」と教えてもらって「そうすれば笑顔になれるんだ」と思いました。わたしはこのことを心に入れてがんばります。パラリンピックがんばってください。(5年YMさん)</p> <p>★中西さんが今までどんな苦勞をしてきて、パラリンピックで金メダルをとったのか、今日話を聞いて分かりました。「小さい頃から勇気を出す力があつた。自分から勇気を出すのが大切」と聞いた時は「確かに」と思ったので、これからは何でもいろうんなことに挑戦して勇気を出していこうと思いました。それに、すごいなと思った言葉は「夢」です。「義足でハイヒールがはけるようになったのは嬉しかった」「次はブーツをはきたい」と聞いた時には、それが叶うようになんかがんばってほしいなと思いました。夢をあきらめないように、私もがんばります。(6年HSさん)</p> <p>★私も中西麻耶さんみたいに前向きで何事もあきらめないようにしたいです。中西さんは私のスポーツ人生を今までと全く違うようにしてくれそうです。何かかできたんだからこれでもできる!と、いい考え方を教えてくれました。私は今まで、これはできたけどそれは無理だと、勝手にする前から決めてしまっていて、後悔が多かったです。今日からは、これができたならそれでもできる!と思ったいです。(6年UMさん)</p>
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>○ 事前に各学級で児童の実態に応じてパラリンピックについて学ぶ機会を設けたり、中西さんの紹介ビデオを流したりして、児童の関心や期待感を高めるようにした。</p> <p>○ 歓迎用の手旗を全員が作成することで、本国開催のオリ・パラの取組について考えるきっかけにした。</p> <p>○ 全児童、保護者(希望者)対象の「人権講演会」の部と、4・5年生対象の座談会の部の二部構成にして、より身近に中西さんと触れ合うことができる場を設けた。 児童をはじめ、教師や保護者からも質問を受け付け、幅広く交流ができるようにした。</p> <p>○ 中西さんの半生について語っていただけでなく、実際に競技</p>

	<p>用の義足に触れさせていただいたり、走る様子を見せていただいたりすることで、パラリンピックへの関心を高めるとともに、障害を乗り越えて自分の夢を追いかける生き様に触れさせるようにした。</p> <p>○ 学校通信を通して、取組の様子を全保護者に伝えることで、児童・教師・保護者・地域が一体となってオリンピック・パラリンピックに関心をもつとともに、今回縁があった中西さんの応援をしていくムードを高めていけるようにした。</p>	
<p>8 主な課題等</p>	<p>○ 一度のふれ合いにとどまらず、今後も中西さんとのつながりをもち続け、東京パラリンピックまでつなげていきたい。</p> <p>○ 今回の出会いをきっかけに、さらに数多くの競技・種目や競技者にふれあえるように、継続して取り組みたい。</p>	
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○ 車いすバスケットや風船バレー等、障害者とともにスポーツを行ったりお話を聞いたりする取組を行い、障害者理解をさらに深める。</p>	